

琉球大学医学部附属病院
地域医療部

高橋 秀徳

巻頭の挨拶

外来化学療法室ってご存知ですか？

このたび琉球大学医学部附属病院「外来化学療法室」専任医師として赴任いたしました高橋秀徳（たかはしひでのり）と申します。長野県生まれの関西育ちです。早速ですが、この「外来化学療法室」って、皆さまご存知でしょうか？

21世紀に入り、画期的な薬剤（＝化学療法）が次々と開発され、がんや自己免疫疾患のようなさまざまな難病も、いまでは慢性疾患の一つとして日常生活の中で共存可能な病気になってきました。副作用対策も大きく進歩し、以前は入院を必要とした多くの抗がん剤治療も、外来通院で実施可能な時代となりました。そしてこのように、治療中でも日常生活（生活の質＝QOL：Quality of

Life と呼ばれます）が保たれることは、実はそれ自体が治療効果にもつながる！ということが近年の研究で明らかになってきています。

一方で、外来通院という環境で専門的な治療を安全に提供し、かつ患者さんのQOL、すなわち日常生活をサポートしていくためには、病院側にはますます高度な知識と技能、特に“先の変化を予測して対応するための仕組み”が求められることになります。この実現を目指しているのが「外来化学療法室」の役割です。

私はこれまで“進行がん治療”を専門とするべく研鑽を積んで参りました。その契機となったのは、医学生時代に行ったインドカルカッタのマザーテレサの家でのボランティア体験、そして研修医時代、救命救急センターに搬送された末期がん患者さんの看取りを担当させて頂いたことでした。がん医療における緩和ケア・QOLへの視点の重要性を痛感し、まずは最先端のがん治療を学ぶべく、国立がん研究センター中央病院の門を叩きました。そこで5年以上にわたる抗がん剤や放射線治療、緩和医療などの進行がん治療に関する専門研修を受けました。がん治療認定医、そして念願の緩和医療専門医になってからは、退院後のがん患者さんの治療と生活を支えるための地域医療・在宅医療に従事しながら、最近では九州の大学院でQOLやがん免疫に関する臨床および基礎研究を行っていました。

沖縄県唯一の“都道府県がん診療連携拠点病院”である本院の「外来化学療法室」は、全国でも数少ないがん化学療法看護認定看護師が専従し、がん専門薬剤師の率いる薬剤部に、大学病院ならではの全診療科によるサポートが得られる、という大変充実した体制になっています。これまでがん専門病院・緩和ケア病棟・地域の診療所という「3つの場」において、多くの患者さんから学ばせて頂いたことを生かして、病院スタッフの皆様のご指導の下、外来化学療法室チームの一員として少しでも皆様のお役に立てますよう、全力を尽くして参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

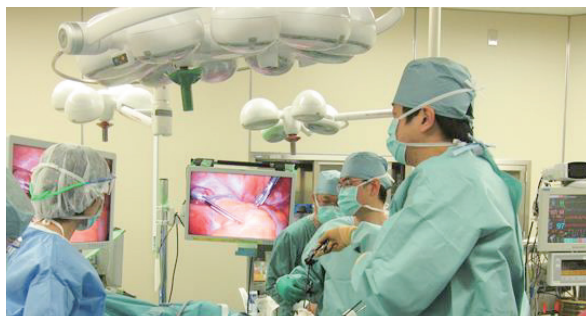
腎泌尿器外科 准教授 宮里 実
助教 芦刈 明日香

女性の膀胱、子宮、直腸といった骨盤臓器が膣の中や外に出てしまう状態を「骨盤臓器脱」と言い、膀胱の場合を「膀胱脱」と言います。重力に逆らって二足歩行を始めた人類の宿命ともいえるべき疾患で、働き者の女性に起こりやすい何とも皮肉な疾患です。潜在的にはかなりの患者さんがいることが推測されている反面、羞恥心から医療機関を受診する患者さんは氷山の一角です。

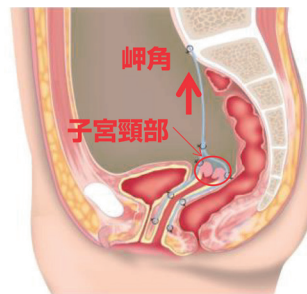
これまで、骨盤臓器脱（膀胱脱）に対する手術は、経膣的にメッシュシートを骨盤底にハンモック状に敷くTVM（Tension-free Vaginal Mesh）手術が中心に行われてきました。当院でも2010年から80例程度同手術を施行してきました。

このような状況下で、骨盤臓器脱（膀胱脱）に対するより良い術式が求められてきましたが、最近注目されているのが腹腔鏡下膀胱脱手術です。腹腔鏡下にメッシュを使用して仙骨と膣を固定する術式で、経膣操作ではないため、TVM手術と比較して、膣びらん、メッシュ露出や痛みが少なく、メッシュ感がないことが特徴で、性活動の高い中高年にはとてもよい適応です。カメラを使用して拡大視野で行うため、狭い視野のTVMと比較して腸管損傷のリスクも少ないのも特徴です。本邦では、2014年に保険収載され、当院でも、2016年3月から同手術を開始しこれまで5例に行いました。手術時間は3～4時間です。

女性特有な疾患ゆえ、科の垣根を超えた協力も必要不可欠です。当科には骨盤臓器脱（膀胱脱）を担当する専門の医師が存在します。どうぞ、恥ずかしがらずに当院腎泌尿器外科外来（毎週 月・火・金）を受診して下さい。



術中の様子



腹腔鏡下膀胱脱術式（子宮頸部をメッシュを用いて岬角に吊り上げる）

紹介

沖縄県基幹型認知症疾患医療センターの開設のお知らせ

沖縄県基幹型認知症疾患医療センター長 近藤 毅

平成28年6月1日より琉球大学医学部附属病院内に沖縄県基幹型認知症疾患医療センターを開設しました。場所は、附属病院1階 精神科神経科外来に隣接しています。高齢化社会において、健康寿命の延長に伴い、今後ますます増えていくであろう認知症の方々の生活を多方面から支えていくために、沖縄県の要になる役割を担っていく部門となります。

認知症の場合、疾病自体が治癒する性質のものではありませんので、他の身体疾患とは異なり、医療のみならず福祉・行政、そして、地域が密接に連携しながら、当事者および家族の方々をサポートしていくシステムが社会に求められています。その中で、沖縄県基幹型認知症疾患医療センターに課せられた役割は、1) 認知症の専門医療に関する相談対応、2) 高度の精査および鑑別診断を要する方々への診断的対応、3) 認知症を有する方々の身体合併症および救急医療に対する治療的対応、4) 難治の認知症の周辺精神症状の管理、5) 県内の地域型・診療所型疾患医療センターとの情報共有および連携、などが挙げられます。

御陰様で、開設当初より、当センターへの相談件数が少しずつ増え、精査を希望されて当科を初診される認知症の方々も増加しております。認知症になっても地域でサポートを受けながら安心して暮らせる沖縄県を目指して、今後は、県民の皆様への認知症に関する情報発信や啓発活動についても積極的に取り組んでまいりたいと存じます。





今村 美菜子

検査・輸血部
副部長

ひとりひとりに最適な医療を目指します

このたび、平成27年11月1日付けで検査・輸血部副部長を拝命いたしました。琉大病院検査・輸血部では、「病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するために、高水準の検査・輸血業務を遂行する」という理念を掲げ、職員一同が日々業務にまい進しております。当部署での業務においては検体検査が主であり、採血、生理検査や自己血採血以外では患者様に直接接する機会は多くありません。しかし、他の診療部門と同様に患者様の立場に立った医療の提供を心がけております。部内はもちろん、各診療科や診療部門との良好な連携を保ちながら患者様に高品質の医療をお届けできるよう努力してまいりたいと思います。

さて、私は平成7年に九州大学を卒業し、内科医として主に糖尿病の診療と研究に従事してまいりました。前任地である理化学研究所では糖尿病などの遺伝要因の研究に取り組んでまいりました。遺伝子解析技術の進歩により、病気にかかりやすい、薬が効きにくい、薬の副作用が出やすいといった個人の生まれもった体質の違いが明らかにされつつあります。いずれは一人お一人の体質に応じた医療が提供できる時代がやってくるでしょう。そのような最先端の医療に対応できる検査業務が行えるよう、検査・輸血部においても研鑽を重ねてゆく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



西 山 毅

臨床工学室
臨床工学士長

臨床工学室が発足して

この度平成28年8月1日付けで、琉球大学医学部附属病院臨床工学室技士長に就任させていただきました。臨床工学室技士長として現在日々奮闘中です。臨床工学技士室が発足する以前は、手術部、高気圧治療部、血液浄化療法部、ME機器センターと4部門で運営されてきましたが、ME各部門間の連携は難しく、残念ながら非効率的でした。そこで大学病院としても組織の統一を図るべく、臨床工学室として組織再編し、そこから各部門に配置する形をとり運営されることとなりました。

最先端の高度な医療機器を扱う臨床工学技士は、臨床現場やME機器管理、メンテナンス等あらゆる場面で極めて重要な役割を果たしており、今後ますます活躍する場面が増すと思われます。

この臨床工学の専門分野で遺憾なく力を発揮するためには、技術や知識だけでなく、チーム医療に必要な豊かな人間性を備えると同時に、臨床工学分野での研究・向上に対して具体的に貢献可能な能力を備えていかなければなりません。その為には、最先端技術や多種多様な医療機器を操作する経験を積み、各分野の専門性を追求できるように、システム化したいと考えています。

また琉球大学医学部附属病院で活躍している臨床工学技士の3割は若い技士です。臨床工学室として研修会や学会参加や発表も行い、各個人が自己研鑽しモチベーションを上げ、大学病院で働くことの誇りが持てるように、バックアップして行きたいと考えています。

表彰 1

医学生シムリンピックおおさか2016で本学学生チームが総合優勝

おきなわクリニカルシミュレーションセンター

去る7月31日に大阪医科大学で開催された医学生シムリンピックおおさか2016（主催：日本医学教育学会）において、琉球大学の学生チームが優勝しました。出場チームのメンバーは能美康彦さん、金城秀樹さん、仲間海人さん（いずれも5年生）の3人です。

医学生シムリンピックは、模擬環境を用いた医学教育（シミュレーション教育）の普及を図り、2014年から開催されている競技会です。患者さんの演技をする役者さんやロボットなどを相手に、全国から集まった16チームが8種目の競技で診察・診断・治療の技能を競いました。

琉球大学は昨年2015年から出場しており、昨年の成績は準優勝でした。出場チームは沖縄県地域医療再生計画に基づいて本学に設置されたシミュレーション教育施設「おきなわクリニカルシミュレーションセンター」で事前にトレーニングを重ね、大会に臨みました。特に今年度は出場チーム以外の学生も一緒になって、各分野の医師、教員に指導を仰ぎながら、練習を積みました。結果、「腹部診療」「腎・泌尿器診療」「救急患者対応」の3種目で1位となり、総合優勝という素晴らしい成果につながりました。



表彰 2

玉城佑一郎医師が「海の日」海事関係功労者表彰受賞

救急部長 久木田 一郎

当救急部は、太平洋・東シナ海の広大な海域の船舶で発生した傷病者の人命救助に参加しています。玉城医師は、南大東島沖の外国籍タンカーでの洋上救急活動に対し、7月25日に第十一管区海上保安本部長より表彰されました。「救急部に残った看護師および第一内科より出向中の田中照久医師の協力に感謝し、今後も海上保安庁含め消防署や医療機関と連携を図りたい」と述べました。



イベント 1

エコクリーンデー in 上原キャンパス

保健学科成人・がん看護学分野 准教授
特別管理産業廃棄物管理責任者 大湾 知子

上原キャンパスの附属病院と医学部では、敷地内建物周囲の環境美化を盛り上げていこうと、利用者の意識向上および廃棄物削減を図っています。経営管理課が中心になり“綺麗な上原キャンパスが大好きです！”「エコクリーンデー in 上原キャンパス」を掲げ、7月14日（木）午後3時～5時、学生と教職員が一斉清掃を行いました。手袋を装着し、竹ぼうきやチリトリで花壇の除草、車輻周辺や排水溝内の貯まり枯葉と草木を収集しました。その際に一般財団法人 徳明会より飲み物のご寄付いただきました。

看護部、事務・教職員、医学科・保健学科の学生、医学部サークル活動部員、その他、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。



イベント2

平成28年度 「第24回ふれあい看護体験」

総務課

平成28年7月27日（水）・28日（木）に、本院病棟にてふれあい看護体験が行われ、県内の高校から両日併せて68名が参加しました。

この体験イベントは、「患者さんとのふれあいを通して、看護することや命について理解と関心を深めること」を目的としており、今年で24回目を迎えます。

当日は、参加時の注意事項の説明及び看護部長からの挨拶のあと、午前中は2～3名のグループに分かれて各病棟の看護師と一緒にシーツ交換や車椅子での搬送、昼食の配膳などを行い、午後は病院見学を行いました。

この体験を通して看護師の仕事に興味を持ち、将来一緒に働ける方がいらっしやることを願っております。



イベント3

夏のほのほのコンサート

総務課

平成28年7月15日（金）に、本院2階外来ホールにて琉球大学混声合唱団による「夏のほのほのコンサート」が行われました。

3部構成で行われたコンサートでは、民謡や童謡、クラシック等多彩なジャンルの歌が披露され、聴衆は優しい歌声に癒やされました。



イベント4

－わがままオヤジの演奏会－ ちゃんぷるーコンサート

総務課

平成28年8月19日（金）19時～20時、琉球大学医学部附属病院2階外来ホールにおいて、職員による演奏会「－わがままオヤジの演奏会－ちゃんぷるーコンサート」を開催しました。

本コンサートは、同病院に入院する患者さんご家族の皆さんに向け、音楽の音色により日頃の闘病生活の疲れを癒やし、前向きな気持ちで治療やケアに取り組んで頂きたいとの思いから開催されたものです。琉大病院介護支援ボランティアの活動支援プロジェクトが企画し、出演者はもちろん、楽器や機材の設置、会場サポートなどの裏方まで、多くのボランティアが参加し、全16曲が披露されました。



平成28年11月から、毎週金曜日 9時半～10時の間の15分間、琉大病院のコーナーが始まりました。
このコーナーは、琉大病院の診療について、各診療科の医師が分かりやすく解説を加えながら説明していきます。

ラジオで放送した内容は、後日、琉大病院ホームページでも聞けるようにいたします。機会があれば、ぜひお聞きくださいませ！



ラジオの放送予定



第1回	琉大病院について 【病院長 藤田次郎】	(11/ 4 (金) 予定)
第2回	生活習慣と肝臓病 【第一内科】	(11/11 (金) 予定)
第3回	喫煙と呼吸器 【第一内科】	(11/18 (金) 予定)
第4回	大腸がんの早期発見 【第一内科】	(11/25 (金) 予定)
第5回	沖縄県のエイズ事情 【第一内科】	(12/ 2 (金) 予定)

※第6回以降も4週ずつ各診療科で持ち回りで担当します。どうぞお楽しみに！



平成28年9月から第2・第4土曜日に沖縄タイムスにて隔週連載を始めました。
沖縄県内唯一の大学病院として行っている高度な医療について、様々な診療科の医師に解説してもらうコーナーです。

新聞に掲載した記事は、新聞を見逃した方もお読みいただけるよう後日、琉大病院ホームページにも掲載する予定ですので、機会があれば、ぜひご覧くださいませ！



連載予定



第4回	病理医の役割【病理診断科】	(11/12 (土) 予定)
第5回	がん患者の緩和治療【放射線科】	(11/26 (土) 予定)
第6回	ホルモンに対する診断・治療【第二内科】	(12/10 (土) 予定)

第7回以降の掲載内容は調整中です。

外来診療日割表

※曜日枠に赤まる●が付いた曜日が外来診療日となります。外来の際にご確認ください。
 ※診療受付時間は午前8時30分から午前11時まで、診療開始時間は午前9時です。予約がある場合は、その限りではありません。 平成28年10月1日現在

診 療 科	専門外来	月	火	水	木	金	備 考
第 一 内 科	感 染 症 内 科	●	●		●	●	新患は要紹介状
	呼 吸 器 内 科	●	●		●	●	新患は要紹介状 肺腫瘍：火・金曜日
	消化器内科（消化管）	●	●		●	●	新患は要紹介状 糞線虫外来：木曜日
	〃 （肝 臓）	※	●		●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約） ※月曜日午後：B型肝炎訴訟診療（要予約）
	〃 （胆道・膵臓）	●					新患は要紹介状 月曜日のみ
第 二 内 科	血液内科（骨髄移植外来）		●			●	新患は要紹介状
	成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)外来		●				
	肥 満 症（生活習慣病）		●	●		●	新患は要紹介状、院外は要予約（医療機関からの申込みに限る） 糖尿病外来は専用フォーム有
	糖 尿 病・代 謝 内 科	●	●	●		●	（院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約） （月曜日は、院内入院糖尿病患者の紹介のみ）
	内 分 泌 内 科		●	●		●	
	膠原病・リウマチ内科		●	●			※膠原病・リウマチ内科は専門医の確保が出来るまで休診（再来のみ可）
	骨粗鬆症・男性更年期（LOH）		●	●			※女性医師による女性外来は要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約）
第 三 内 科	神 経 内 科	●		●	●		新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る）
	高血圧・腎臓内科	●		●	●	●	（院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約）
循 環 器 科	高 血 圧 内 科			●	●		
第 一 外 科	循 環 器 内 科	●		●	●	●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約）
	上 部 消 化 管 外 科	●		●			新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る）
	下 部 消 化 管 外 科	●		●	●		（院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約）
	肝 胆 膵 外 科	●			●		
第 二 外 科	乳 腺 ・ 甲 状 腺 外 科	●		●			
	小 児 外 科	●		●			小児外科は午後のみ
心 臓 血 管 外 科	呼 吸 器 外 科		●		●		新患は要紹介状 呼吸器外科：院内紹介は事前に電話相談
	心 臓 血 管 外 科		●			●	
脳 神 経 外 科	ス テ ン ト 外 来		●			●	血管外科：原則要予約（医療福祉支援センター内線1371で予約） 木曜日：原則院内紹介のみ（主に DVT、静脈瘤）
	血 管 外 科		●		●	●	
	一 般 ・ 腫 瘍 脳 血 管 障 害	●		●		●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） 他院・他科からの紹介・予約患者は10時～11時に受付 院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約、院内からの紹介は脳外科外来受付（月・水・金）内線1307で予約 緊急を要する患者は医局1171または病棟3801へ連絡し当日の当直医（担当医）が対応します。
整 形 外 科	新 患 ・ 再 来	●		●		●	
	手 の 外 科	●		●		●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約）
	リ ウ マ チ 骨 ・ 軟 部 腫 瘍	●				●	
	脊 椎 ・ 脊 髄 骨 節 関	●			●	●	側弯症外来：金曜日
	ス ポ ー ツ 医 学（膝）	●		●			
形 成 外 科	骨 粗 鬆 症	●		●			※小児整形：第2、4金曜日は休診 ※乳児股関節の精密検査は要予約 整形外来内線1301で予約
	小 児 整 形	●		●		●	
産 科 婦 人 科	新 患 ・ 一 般 再 来		●		●		新患は要紹介状
	新 患	●		●		●	紹介状有りが望ましいが、科の特殊性として紹介状なしでも診察します（不妊症は紹介状必須）
	産 科	●	●	●	●	●	火曜日・木曜日：予約再来のみ
	婦 人	●	●	●	●	●	
小 児 科	生 殖 不 妊 ・ 内 分 泌 ・ 骨 粗 鬆 症	●		●		●	
	新 患 ・ 一 般 再 来	●		●		●	新患は要紹介状
	生 活 習 慣 病 ・ 内 分 泌			●	●		小児循環器専門医は不在
	遺 伝 ・ 先 天 代 謝 異 常			●			小児腎臓科は要相談
	神 経	●			●		
皮 膚 科	新 生	●				●	
	血 液（移 植 外 来）			●		●	
	膠 原 病	●				●	
	皮 膚 科		●		●	●	新患は要紹介状
腎 泌 尿 器 外 科	皮 膚 外 科		●		●	●	
	乾 癬		●				
	強 皮 症 ・ 皮 膚 筋 炎		●			●	
耳 鼻 咽 喉 科	腎 泌 尿 器 外 科	●	●			●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約） 小児泌尿器外来は、月曜日午後（予約再来のみ） 腎移植外来：午前は再来のみ、新患は午後
	再 来	●	●			●	
	小 児 泌 尿 器 外 来	●	●			●	
	腎 移 植 外 来（午 前 再 来）	●	●			●	
眼 科	腎 移 植 外 来（午 後 新 患）	●				●	
	新 患	●		●	●		新患は要紹介状
	甲 状 腺 ・ 頭 頸 部 腫 瘍	●		●	●		院内紹介は、電子カルテ上の紹介枠での予約必要
	鼻 副 鼻 腔 ・ ア レ ル ギ ー	●		●	●		
	中 耳 炎 ・ 難 聴 ・ め ま い ・ 顔 面 神 経	●		●	●		
	人 工 内 耳	●		●	●		
	幼 児 難 聴 ・ 補 聴 器	●		●	●		
	口 腔 咽 頭 ・ 唾 液 腺 ・ 音 声 ・ 嚥 下	●		●	●		
	頭 部 エ コ ー 外 来	●		●	●		
緑 内 障 小 網 膜 硝 子 体 角 膜 神 経 ・ 腫 瘍 ・ ふ ぶ 豆 一 般 再 来	ア レ ル ギ ー 免 疫 治 療 外 来			●	●		アレルギー免疫治療外来：予約再来のみ
	緑 内 障	●		●			月曜日は外来者の新患及び再来予約のみ
	小 網 膜 硝 子 体		●		●		
	角 膜	●	●	●	●		
	神 経 ・ 腫 瘍 ・ ふ ぶ 豆	●	●	●	●		月曜日の神経、腫瘍は午後の再来のみ

※曜日枠に赤まる●が付いた曜日が外来診療日となります。外来の際にご確認ください。

※診療受付時間は午前8時30分から午前11時まで、診療開始時間は午前9時です。予約がある場合は、その限りではありません。

平成28年10月1日現在

診療科	専門外来	月	火	水	木	金	備 考
精神科神経科	新 患		●		●	●	新患は予約制 (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) (医療機関からの申込みに限る) (院内他科通院中の方は当科外来受付・内線1306で予約) ※紹介状も必要です。
	一 般 再 来		●		●	●	
	児 童 ・ 思 春 期 外 来	●					
	周 産 期 支 援 外 来	●					
認知症疾患医療センター	光トポグラフィー外来	●	●		●		新患は要紹介状 原則予約制。予約は認知症疾患医療センター：895-1765
	も の 忘 れ 診 断 外 来		●			●	
放 射 線 科	放 射 線 診 断 ・ I V R			●		●	新患は要紹介状 月曜日は緩和治療中心。要事前連絡、院内紹介のみ (連絡先：①4255 ②4865 ③4862) 完全予約制 新患は要紹介状、要予約(医療機関からの申込みに限る) (院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約) 重粒子線治療相談外来は水曜日のみ
	C T ガ イ ド 下 ・ P V P			●			
	甲 状 腺 ・ R I			●			
	放 射 線 治 療	●	●	●		●	
麻 酔 科	麻 酔 科	●		●		●	
	ベ イ ン ク リ ニ ッ ク	●		●		●	
歯 科 口 腔 外 科	新 患 ・ 一 般 外 来	●	●		●	●	新患は要紹介状 新患・一般外来：月～金曜日（水曜日を除く）
	口 唇 ・ 口 蓋 裂	●					
	顎 変 形 症	●					
	腫 瘍		●				
	顎 関 節 症				●		
	外 傷				●		
リハビリテーション科	口 腔 ケ ア セ ン タ ー	●	●		●	●	
	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	●	●	●	●	●	
高 気 圧 治 療 部	高 気 圧 治 療 部	●	●	●	●	●	新患は要紹介状 新患は午前11：00まで、救急は要連絡
血 液 浄 化 療 法 部	血 液 浄 化 療 法 部	●	●	●	●	●	土曜日 通常体制 夜間・日曜・祝日はオンコール体制
地 域 医 療 部	地 域 医 療 部	●	●	●	●	●	※新患は原則要紹介状
総 合 診 療 セ ン タ ー	総 合 診 療 科 部 門	●	●	●	●	●	総合診療科部門は午前のみ ※外来患者のみ ※新患は原則要紹介状 火・水・金曜日の午前中・予約制※当院通院中の外来患者のみ 第3金曜日の午後のみ ※事前予約が望ましい 火・金曜日の午後のみ(インフルエンザワクチンを除く) 予約制。予約は総合診療センター・内線1310で予約(予約受付時間：月～金曜日の14時～16時まで)
	禁 煙 外 来		●	●		●	
	漢 方 外 来					●	
が ん セ ン タ ー	ワクチン外来(感染対策室)		●			●	新患は要紹介状(火・木曜日は予約制) 月・火・木・金曜日(12:00～16:00) 水曜日(12:00～14:00) ※事前予約が望ましい(内線1311)で予約
	緩和ケア外来(身体的緩和部門)	●	●	●	●	●	
	〃(精神的緩和部門)	●	●	●	●	●	
救 急 部	が ん 看 護 外 来	●	●	●	●	●	
救 急 部	救 急 部	24 時 間 診 療					

本院の理念及び基本方針

理 念

病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、国際性豊かな医療人を育成する。

基本方針

1. 生命の尊厳を重んじた全人的医療の実践
2. 地域における保健・医療・福祉の向上に対する貢献と関連機関との連携
3. 先端医療技術の開発・応用・評価
4. 国際性豊かな医療人の育成

患者さんの権利と責務について

琉球大学医学部附属病院では、患者さんを中心とした「安全・安心・思いやり」に基づくより良い医療を目指しております。患者さんとの深い信頼関係の上に成り立つ医療の大切さを十分に理解するとともに、患者さんには一人一人に次のような権利と責務があることを確認いたします。

●患者さんの権利●

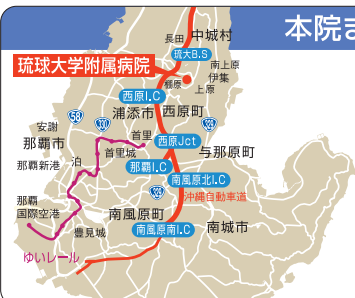
1. あなたは、どんな場合でも、一人の人間として大切に扱われる権利があります。
2. あなたは、どのような境遇・環境であっても、専門家による平等で良質な医療を受ける権利があります。
3. あなたは、病気のことや治療について十分に教えてもらう権利があります。
4. あなたは、治療について意見を述べる権利と選択できる権利があります。
5. あなたは、あなた自身の話したこと、病気、身体について、知られたいくないことを守られる権利があります。

●患者さんの責務●

1. 最善かつ適切な診療を行なうために、あなた自身の健康状態についてできるだけ正確に伝える責務があります。
2. 主治医や担当医の治療や退院計画に主体的に取組み協力する責務があります。
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、病院の規則に従い、医療の妨げとならないように協力する責務があります。特に攻撃的な態度や暴言、乱暴な行為は謹み、施設の所有物を大切に使うようにして下さい。

平成22年8月

本院までの交通機関



- 那覇バス
所要時間：那覇バスターミナルより本院まで約50分
- 97番 琉大線
経路：那覇バスターミナル～牧志～儀保～**琉大病院前**～長田～中部商業高校前～琉大北口
タクシー・乗用車での所要時間
●那覇市街より約25分 ●沖縄市街より約20分
●那覇空港より約35分 ●モノレール首里駅から10分
※モノレール儀保駅からバス(97番)で30分

附属病院
ホームページが
携帯サイトからも
閲覧できます。



ボランティア募集

本院では、一般の方からの病院ボランティア(外来ロビーでの案内・補助等)を広く募集しております。空いている時間を利用して、一緒に参加してみませんか？まずはお気軽にご連絡ください。
【連絡先】総務課 (098)-895-3331 (内線：1006)

琉球大学医学部附属病院

http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/

電話(098)895-3331(代表)

医療福祉支援センター(内線1371)

〒903-0215 沖縄県西原町字上原207番地

HOT LINE

8

本紙掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします